

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
106 - 156	高等学校	芸術	書道 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
6 教図	書 I 006 - 901	書 I		

## 1. 編修の基本方針

### 高校生の素朴な疑問に応える学びを

本教科書は、「教育基本法」に示された教育の目標と高等学校学習指導要領に示されている内容に基づき、表現と鑑賞が相互に関連しながら、基礎的な学習が系統的・段階的に進められるよう、次の点に配慮して編修しました。

#### 1. 書に関する基礎・基本的な知識・技能の習得と、確実な定着を図る。

書写から書道への導入、古典に基づく学習の意義など、書の学習の基本となる内容を確実に習得することで、土台となる知識と教養を身につけ、生涯にわたって書を愛好する心情を育てることを主眼に、学習内容の精選と、資料の拡充を図りました。

#### 2. 表現と鑑賞の両面から、書の伝統と文化について理解を深める。

表現と鑑賞の両面から学習を深め、書に関する見方・考え方を養うことができるような編修を行いました。表現編は、「私」の表現を知る「書」をテーマに、古典に基づく表現の学習の基礎・基本が確実に身につくよう、高校生が学習するのに適した古典の選択と、鮮明で大きな図版を豊富に掲載し、鑑賞編は、「見る・感じる・知る 書」をテーマに、さまざまな古典や近現代の書を見て楽しんだり、知識を得てじっくりと味わう活動や、歴史や周辺文化についての知識を得るための資料など、書の鑑賞をとおして、伝統と文化を幅広くそして深く理解することができるように配慮しました。

#### 3. 芸術の学習をとおして、思考力・判断力・表現力を養う。

学習者が主体的に学ぶ力を養うことができるよう、段階的に教材を配列しています。

芸術は、表現・鑑賞いずれの場合においても、思考し、表現する活動が主体となるため、初歩の段階から意識を高めていく必要があります。また、相手や目的、意図、場面などに応じて互いの意見や立場を尊重し、課題解決に向けて協力したり助言し合う活動などをとおして、コミュニケーション能力を育成することを目指しました。

#### 4. 身のまわりの文字や書に関心を高め、情報社会を生き抜く力を育成する。

書は言葉を書くことで成立する表現であることから、古典だけではなく、生活の中で見られるさまざまな書を教材にすることで、言葉や文字そのものへの関心を引き出し、伝達手段としての表現感覚を養うだけでなく、目的、場面などに応じた表現の仕方や、毛筆の持つ魅力や意義、効果などについて考え、情報社会を生き抜く力が身につくことを目指しました。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>目次</p> <p>プロローグ</p> <p>筆を持つ、その前に</p> <p>コラム 書の表現、それは「私」の可能性</p>	<p>○幅広い知識と教養を身につけるために、書道の学習の基盤となる芸術科書道への導入となる教材を示しました。[第1号]</p> <p>○自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うために、限りある資源を素材とした書道の用具・用材を大切に扱うことができるように配慮しました。[第4号]</p>	<p>p.002-003</p> <p>p.004-005</p> <p>p.006</p>
<p>表現編 「私」の表現を知る 書</p> <p>鑑賞編 見る・感じる・知る 書</p> <p>書へのいざない</p> <p>書体はなぜ生まれるのだろうか</p> <p>文字が無い日常を、想像できますか？</p> <p>見て知る 知って見る</p> <p>漢字の書</p> <p>古典に学ぶってどういうこと？</p> <p>楷書</p> <p>行書</p> <p>草書</p> <p>隸書</p> <p>篆書</p> <p>篆刻</p> <p>漢字の書の作品制作</p> <p>仮名の書</p> <p>仮名の書の作品制作</p>	<p>○他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、漢字誕生の国・中国を象徴するような写真や図版を選定しました。[第5号]</p> <p>○幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度を養うために、各時代を代表する古典を教材として選定しました。[第1号]</p> <p>○幅広い知識と教養を身につけるため、書体の特徴や歴史、能書と呼ばれる人物について深く学習することができる内容を設定しました。[第1号]</p> <p>○伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、写経や造像記など、祈りの心について学習することができる単元を設定しました。[第5号]</p> <p>○作品同士を比較しながら鑑賞し、他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号]</p> <p>○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うために、身の回りの書を観察し、その意義について考えられるようにしました。[第3号]</p> <p>○伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するために、仮名と日本の言葉の関わりを示しました。[第5号]</p> <p>○幅広い知識と教養を身につけ、健やかな身体を養うために、姿勢・執筆法などの知識や技能を単元の冒頭に設定しました。[第1号]</p> <p>○幅広い知識と教養を身に付けるため、平安時代の文学と仮名の関係について、深く学習することができるようにしました。[第1号]</p> <p>○作品を鑑賞し他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号]</p>	<p>p.007-080</p> <p>p.081-142</p> <p>p.008-009</p> <p>p.056-057</p> <p>p.082-083</p> <p>p.010-011</p> <p>p.012-033</p> <p>p.108-119</p> <p>p.034-041</p> <p>p.090-107</p> <p>p.042-043</p> <p>p.088-089</p> <p>p.044-045</p> <p>p.086-087</p> <p>p.046-047</p> <p>p.084-085</p> <p>p.048-051</p> <p>p.052-055</p> <p>p.058-064</p> <p>p.120-131</p> <p>p.066-069</p>

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>漢字仮名交じりの書</p> <p>漢字仮名交じりの書の作品制作</p> <p>生活の中の書</p>	<p>○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するために、漢字と仮名による日本語の表記の歴史を示しました。[第5号]</p> <p>○自主及び自律の精神を養うために、生徒自らが漢字や仮名の学習を振り返りながら漢字仮名交じりの書の表現に取り組めるような構成としました。[第2号]</p> <p>○創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、主体的に構想し、創意工夫する単元を設定しました。[第2号]</p> <p>○作品を鑑賞し他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号]</p>	<p>p.132-139</p> <p>p.070-077</p> <p>p.078-079</p> <p>p.140-141</p>
<p>資料書の文化</p> <p>姿勢と執筆法</p> <p>書写から書道へ</p> <p>臨書から創作へ</p> <p>用具・用材</p> <p>碑と拓本</p> <p>さまざまな楷書古典</p> <p>さまざまな行書古典</p> <p>書の鑑賞形式</p> <p>日本と中国の書道史略年表</p> <p>書道用語集</p> <p>中国・日本書道史関係地・資料参考地図</p>	<p>○幅広い知識と教養を身につけるために、書道の学習の基盤となる中学書写で学習した知識や技能を示しました。[第1号]</p> <p>○自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う意識が持てるよう、筆墨硯紙の生産地を紹介しました。[第4号]</p> <p>○臨書について学習することで、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うことができるように配慮しました。[第1号]</p> <p>○創造性を培い、自主及び自律の精神を養うために、主体的に構想し、作品を制作する単元を設定しました。[第2号]</p> <p>○伝統と文化を尊重するために、書と深い関わりのある印の歴史と落款について学習できるように設定した。[第5号]</p> <p>○公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画するために、自宅の表札を刻字で制作する教材を示しました。[第3号]</p> <p>○幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うために、書の古典と伝統的な形式について学べるように配慮しました。[第1号]</p> <p>○作品同士を比較しながら鑑賞し、他者と意見を交換することで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養う単元を設定しました。[第2号]</p> <p>○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重して国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、はがきや手紙の書式、年賀状の書式、金封の表書きなどの教材とマナーを示しました。[第5号]</p> <p>○伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、書の歴史や地理資料、用語について確認できるように配慮しました。[第5号]</p>	<p>p.143-165</p>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条に示す、「豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養う」ために、以下の点について編修上の工夫をしました。

#### ○表現と鑑賞両方の学習を充実させる「more」マークの使用

表現編の学習で、鑑賞編の関連ページの参照がスムーズに行えるよう、「more」マークを付しました。教科書全体を活用しながら学習を進めることで、視野が広がり、書に関する知識や技能の向上につながります。

#### ○書の作品を際立たせるゴシック体フォントの活用

肉筆や拓本で示す書の古典の印象を際立たせるため、タイトルや本文の書体をゴシック体で統一し、すっきりとした紙面を実現しました。

#### ○明るく見やすい紙面レイアウト

判型は「A4」を採用し、古典の図版をゆったりと原寸大で掲載したり、適度な余白を持たせることで、すっきりと明るく見やすい紙面になるように工夫しました。

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
106 - 156	高等学校	芸術	書道 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
6 教図	書 I 006 - 901	書 I		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ●基本方針

- ①基礎・基本的な書の知識・技能の習得と、確実な定着を図ります。
- ②表現と鑑賞の両面から、書の伝統と文化について理解を深められる構成です。
- ③芸術の学習をとおして、思考力・判断力・表現力を養い、コミュニケーション能力を育成します。
- ④身のまわりの文字や書に関心を高め、情報社会を生き抜く力を育成します。

### ●構成と配列

書の表現の基礎・基本に軸をおいた「表現編」と、鑑賞に軸をおいた「鑑賞編」の二編による構成です。

「書写から書道への導入、漢字の書、仮名の書、漢字漢字仮名交じりの書」すべての領域において、表現と鑑賞双方向の学習が可能ないように構成しました。

#### プロローグ



p.004-005



p.006

書道の学習を、生徒が自分ごととしてとらえられるよう、共感・実感を伴う導入の内容を工夫しました。常に学習の主体は自分であり自己であるのだということに気づくことから学習を始めます。

#### 書へのいざない



p.008-009



p.082-083

書とはどのような芸術なのかを理解するための導入として、「書体はどうして生まれるのだろう」、「見て知る 知って見る」という、表現と鑑賞について根源的に考えるページを設けました。

漢字の書



p.108-109 「楷書を知る」

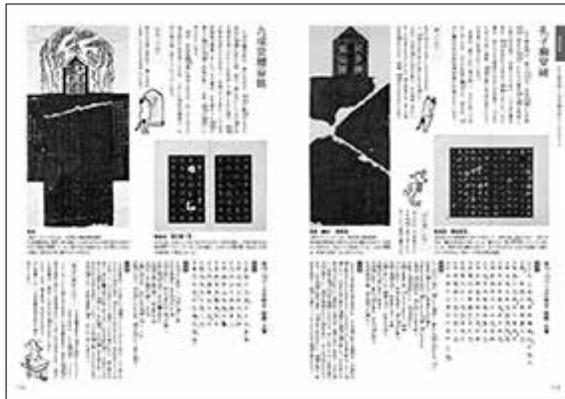


p.012-013

各書体の特徴や変遷について、イラストとともにわかりやすく紹介しています。特に楷書は、書道1の中心となる学習内容であるため、原寸大図版や拡大図版、折込による全拓の掲載など、表現と鑑賞の両面から各古典にアプローチできるよう、鮮明で臨場感のある図版を豊富に掲載しています。また、二次元コードで、二文字拡大図版の筆順や補助線など、書風を読み解くためのヒントを提示しています。

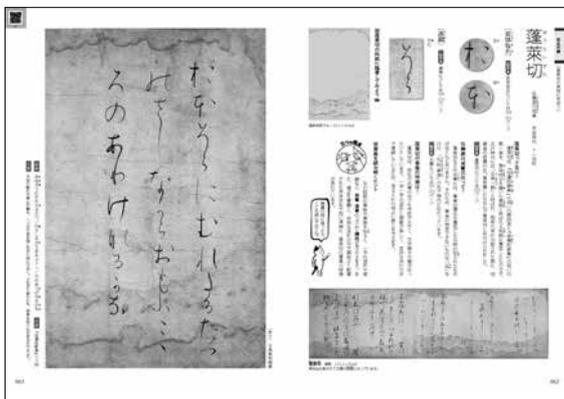


p.014-015

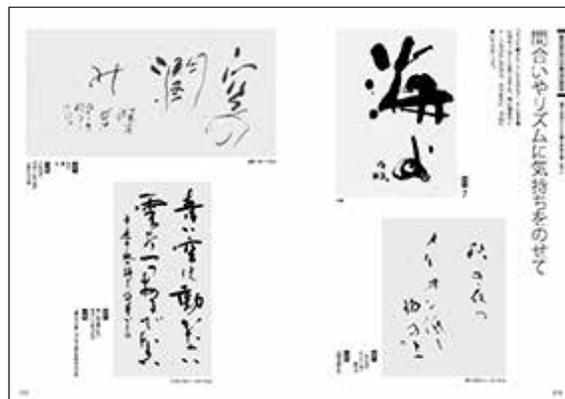


p.114-115

仮名の書・漢字仮名交じりの書



p.062-063



p.074-075

仮名の基本学習から作品制作、漢字仮名交じりの書の作品制作など、古典の臨書等で学んだことをどうやって自身の表現に生かせばよいのか考えられるような構成を工夫しました。

資料編



p.146-147



p.150,155

本冊の巻末には、姿勢・執筆法や用具・用材を始め、臨書から創作へ、碑と拓本、書の鑑賞形式、書文化の変遷ほか、書と周辺文化の幅広い学習に配慮しています。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				該当箇所	配当 時数
	A表現	B鑑賞	共通事項	内容の取扱い		
プロローグ 筆を持つ、その前に コラム 書の表現、それは「私」の可能性 書へのいざない 書体はなぜ生まれるのだろう	(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (2)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (3)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ)	(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (ウ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(5)(7)(9) (10)	p.004-005  p.006 p.008-009	
表現編 「私」の表現を知る 書 漢字の書 古典に学ぶってどうということ？ さまざまな楷書古典 さまざまな行書古典	(2)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) ウ(ア)	(1)ア(ア) (イ) イ(イ) (ウ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(5)(9)(10)	p.009  p.010-012 p.151-152 p.153-154	
楷書 大道・孔子廟堂碑 清泉・九成宮醴泉銘 無門・雁塔聖教序 武道・顔氏家廟碑 令和・牛橛造像記 永和・鄭羲下碑	(2)ア(ア) イ(ア) (イ) ウ(ア)	(1)ア(ア) イ(ア) (イ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(7) (9)	p.012-033	
楷書を知る 漢字のプラットフォーム 野生味あふれる北魏の楷書 南北の融合により洗練を極めた隋・唐の書 孔子廟堂碑・九成宮醴泉銘・雁塔聖教序・ 顔氏家廟碑 小さな楷書の世界	(2)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) ウ(ア) (イ)	(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (ウ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(7) (9)(10)	p.108-119	
行書 大地・集王聖教序 立德・争坐位文稿 天朗気清・神龍半印本蘭亭序 風信雲書・風信帖	(2)ア(ア) イ(ア) (イ) ウ(ア)	(1)ア(ア) イ(ア) (イ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(7) (9)	p.034-041	
行書を知る 次へとつなげる気持ち 蘭亭序の魅力 唐の文化の吸収と日本の書の芽生え 文化の国風化と日本独自の書の確立 二人の書のレジェンド王羲之と顔真卿 詩を自書して心情を表現	(2)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) ウ(ア) (イ)	(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (ウ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(7) (9)(10)	p.090-107	
草書 心動・真草千字文 隸書 有志・曹全碑 篆書 金石・皇帝・泰山刻石	(2)ア(ア) イ(ア) (イ) ウ(ア)	(1)ア(ア) イ(ア) (イ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(9)	p.042-047	
草書を知る 省略の極み 隸書を知る 直線化と波勢の誕生 篆書を知る 漢字の夜明け	(2)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) ウ(ア) (イ)	(1)ア(ア) (イ) イ(ア) (イ) (ウ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(9) (10)	p.088-089 p.086-087 p.084-085	
仮名の書 筆の穂先の弾力を感じてみよう 言葉を連綿しながら書こう リズムよく平仮名を書こう 蓬莱切 高野切古今和歌集〈第三種〉	(3)ア(ア) イ(ア) (イ) ウ(ア)	(1)ア(ア) イ(ア) (イ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(7) (9)	p.058-065	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容				該当箇所	配当 時数
	A表現	B鑑賞	共通事項	内容の取扱い		
仮名の書 仮名を知る 和の言葉を表す文字 古筆を知る 王朝文化へのあこがれ 文字を見る 仮名文字の姿 行を見る 線・リズム・形 現存最古の古今和歌集 紙面を見る 連なる行の美 紙面を見る 小さな紙に舞う散らし書きの美	(3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(7)(9)(10)	p.120-131	
漢字仮名交じりの書 漢字仮名交じりの書を知る 読みやすさと美しさの両立 漢字と仮名の調和 空間に遊ぶ言葉 自分自身の表現を求めて	(1)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) (エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(5)(7)(8)(9)(10)(11)	p.132-139	
漢字の書の作品制作	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(9)(10)(11)	p.052-055	
仮名の書の作品制作	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(4)(5)(9)(10)(11)	p.066-069	
漢字仮名交じりの書の作品制作	(1)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ	(1)(2)(3)(5)(7)(9)(10)(11)	p.070-077	
エピローグ 私と書とのこれから		(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) (エ)		(10)	p.142	
資料 書の文化 姿勢と執筆法 書写から書道へ 臨書から創作へ 用具・用材	(1)イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) (2)イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) (3)イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(イ) イ(ア)(イ)(エ)	(1)アイ		p.144-145 p.146 p.147 p.148-149	
私の書の証を示す落款と印 私を表す印を刻ろう 刻字で表札を作ろう	(2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(ウ) (エ)	(1)アイ	(6)	p.048-049 p.050-051 p.080	
碑と拓本 書の鑑賞形式		(1)ア(ア)(イ) イ(イ)(エ)		(10)	p.150 p.155	
日本と中国の書道史略年表 書道用語集		(1)ア(ア)(イ) イ(イ)(ウ)(エ)		(10)	p.156-161 p.162-163	
生活の中の書 心を込めて書く 生活の中の書 自分らしく書く	(1)ア(ア)(イ)(ウ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) (2)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ) (3)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ) ウ(ア)(イ)	(1)ア(イ) イ(ア)(イ)	(1)アイ	(7)	p.078-079 p.140-141	
中国・日本書道史 関係地・資料参考地図		(1)ア(ア)(イ) イ(ア)(イ)(エ)		(10)	p.128-129 p.48-49	

# 編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
106 - 156	高等学校	芸術	書道 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
6 教図	書 I 006 - 901	書 I		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
77	北原白秋詩 海雀 金子鷗亭	1	内容の取扱い「(3) 内容の「A表現」の(1)については漢字は楷書及び行書、仮名は平仮名及び片仮名」に示されていない書体が混じる作品である。	0.5
合計				0.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容